

公成建設株式会社 VOL.451

安全衛生ニュース

発行
公成建設(株)安全衛生
協力会事務局
編集
安全衛生委員会
事務局

◆ “ゼロ災” 達成を目指して
～『多様な』『危険感受性』『危険敢行性』～◆
木下吉工業株式会社 代表取締役 木下 英一

今年度の全国安全週間のスローガンは「多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場」、昨年度のスローガンは「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」でした。2 年続けてスローガンの中に『多様な』人材・仲間という言葉が使われています。

これには、労働者の構成比率で、「高齢労働者」「外国人労働者」「経験の浅い未熟練者・若年層」が増加しているという背景があります。「高齢労働者」には、加齢に伴う体力・バランス能力の低下から、「外国人労働者」には、言語や文化の違いによるコミュニケーションギャップから、「経験の浅い未熟練者・若年層」には、基本ルールの理解不足や作業手順の未定着から、それぞれ事故リスクの高まりに繋がる可能性があります。



また、労働災害防止には、『危険感受性』を高めることが大事だと言われています。『危険感受性』とは、何が危険か、どこが危険か、どうなると危険な状態になるのか等を直感的に感じ取る能力、察知する能力のことです。近年、我々の建設業界においても、安全意識の向上が浸透し、現場の設備や環境が整備され、労働災害の件数自体は減少傾向にあります。その一方で、危険を“肌で感じる”機会も減ってきています。“危険に気づけるかどうか”を体感的に理解する機会が少なく、感受性の低下が問題視されています。

『危険感受性』と混同されがちな言葉に『危険敢行性』という言葉があります。『危険感受性』が、“危険に気づけるかどうか”を示す能力なのに対し、『危険敢行性』は、“危険と分かっているにもかかわらずあえて実行してしまう傾向”を指します。特に現場経験が長い人ほど「慣れ」や「過信」によって、「自分は大丈夫」という気の緩みが生じ、

『危険敢行性』が高くなり、それが事故に繋がることもあります。

『多様な』人材・仲間との共同作業となる現場では、当然のことながら各々の『危険感受性』の高さにもバラツキがあります。自分自身が、“危険に気づける”能力を養うとともに、一緒に働く『多様な』人材・仲間を守る意識が大切です。大事なのはやはり、コミュニケーションではないでしょうか。一声掛け合い運動、挨拶運動等身近なことから積極的に取り組むことから始めましょう。また、コミュニケーションとは、決して話すことだけではありません。例えば表情やジェスチャーも立派なツールになると思います。人の表情やジェスチャーには、時として言葉以上に、人とつながる、また人に伝える力があります。

同時に、経験が豊富な方は、“危険に気づける”だけでなく、“それを無視しない”行動も大事な要素となります。見慣れた環境や繰り返し作業に慣れてしまうことで、ちょっとした異変やリスクの兆候に気づけなくなってしまうかもしれません。時には立ち止まり、初心に戻り、『危険敢行性』を抑制しましょう。これも『多様な』人材・仲間を守ることに繋がります。

店社、協力業者が一丸となり、“ゼロ災” 達成を目指しましょう。 ご安全に！

7 月度合同パトロール

7月9日に予定していました「YTVショー用水上橋架設工事」の合同パトロールは、7月6日(月)に死亡事故が発生したため、中止となりました。

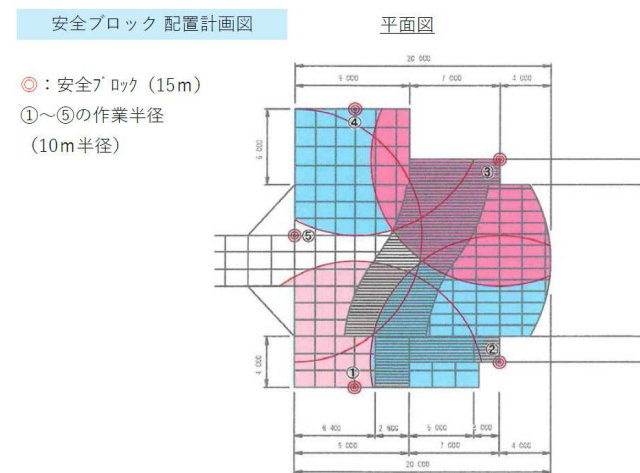
7月13日より、午前に現場供養を執り行い、午後より工事を再開しました。
今回は事故を受けて再発防止対策について記述します。

◆ 事故再発防止対策

今回、落下事故が発生したのは、最上部ブラットホーム上の床設置作業時であり、それに対する対策です。

【対策1】安全ブロック設備の設置

安全ブロック設備を設置後、床設置作業（バタ角、足場板）の配列、結束作業を行う。

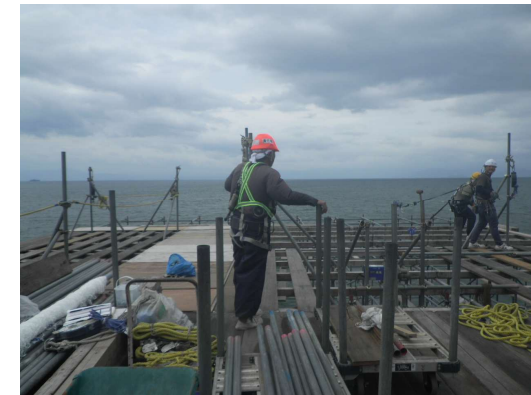


【対策2】落下防止網の設置

安全ブロック設置後、落下防止網を設置する。



【対策3】安全帯監視員の配置



※亡くなられた作業員さんのご冥福をお祈り申し上げます。

重点実施例

『東ノ既設溶接鋼管対策5 舗装本復旧工事』

土木部 舗装G 工事主任 田路 瞬也

本工事は、老朽化に伴う鋼管入替工事跡の舗装本復旧工事となります。工事内容は三条通花見小路通交差点を東へ60m南へ10mの舗装工事になります。

小規模ではありますが、観光客が行き交う幹線道路であり、ホテルの前面道路ということで、事前打合せの結果、施工時間を『20 時～24 時』と短縮し、施工時には『防音対策』をすることで工事の承諾をいただきました。そのことを踏まえて、次の安全重点項目を掲げました。

- 徹底した騒音・振動対策（ホテルへの最大限の配慮）
 - ・防音パネル（ノイズソーバー[H2.7m×W12m]）の設置
 - ・作業音、衝撃音の軽減
 - ・重機の低速移動による振動の軽減
- 複数のホテルから出入りするお客様や観光客、歩行者の安全な誘導
 - ・外国人観光客が多いので、意識したわかりやすい誘導を心掛け、封鎖した横断歩道の迂回誘導も丁寧に行う。
- 「時間短縮」に伴う焦りの排除・防止
 - ・「4 時間施工」という焦りは、不安全行動を誘発します。
 - ・作業開始前に綿密な打合せを行い、役割分担と手順の周知徹底。

以上のことを実施し、無事故無災害で終わることができました。と、私が現場にいったように書きましたが、実際に現場で大変な思いをしたのは、井上くんです。厳しい条件の現場でしたが、大きなトラブルもなく納めてきた彼に今後も要注目です。ご安全に。



【東／既設溶接鋼管対策5 舗装本復旧工事】

現場 ニュース

『久御山町全世代・全員活躍
まちづくりセンター建築工事』
建築部 建築G 工事所長 岡田 毅

久御山町全世代・全員活躍まちづくりセンター（愛称：グランハット）は、旧中央公民館跡地（久御山町役場敷地内）に建設中の複合施設です。約300席のホールや活動室を備え、赤ちゃんから高齢者まで世代を超えて集える町の新たなシンボルとして2026年12月末の竣工を目指して工事を進めています。

工事は2024年3月より着工しましたが、基準値を超える汚染土の検出による追加工事・工期延長から始まり、柱の少ない吹き抜け空間を実現するための複雑な鉄骨や難解な意匠、設備機器・配管・配線スペースの不足等の様々な問題や困難にぶつかってきました。そんな現場も、現在は外装がほぼ完成し、内装工事と外構工事を並行して進めています。先月行われた久御山町様の現場視察では「とても技術が詰まった現場だということが分かった」

「完成を楽しみにしている」と感想をいただき、大変苦労している現場だと感じ取っていただけたようです。

これから更に多業種の工程・作業が錯綜することになります。整理整頓と動線の明確化、工程管理を重点的に配慮し、無事故・無災害で竣工を迎えられるよう最後まで気を引き締めて作業にあたります。 ご安全に！！



【久御山町全世代・全員活躍
まちづくりセンター建築工事】

安 衛 コ ラ ム

『夏野菜で健康増進！』

土木部 工務G 係長 福井 翔子

夏は気温や湿度が高くなり、体力の消耗や食欲不振、熱中症のリスクが高まる季節です。建設現場で働く皆さんにとって、日頃の体調管理もまた安全作業のひとつとなります。そこで今回は、夏の健康増進に役立つ「夏野菜」をご紹介します。

代表的な夏野菜には、トマト、きゅうり、なす、ピーマン、ゴーヤなどがあります。これらの野菜には、水分やビタミン、ミネラルが豊富に含まれており、汗で失わ

れやすい栄養素の補給に役立ちます。特にトマトに含まれるリコピンには抗酸化作用があり、紫外線による体へのダメージ対策が期待できます。きゅうりやなすは水分が多く、体を冷やす働きがあるため、暑さによる疲労感の軽減に効果的です。また、ゴーヤに含まれるビタミンCは熱に強く、夏バテ予防におすすめです。

食事では、野菜サラダや冷やしうどんの具材、炒め物など、無理なく取り入れられる方法を選びましょう。ただし、冷たいものの摂り過ぎは胃腸の不調につながるため注意が必要です。

十分な水分補給とバランスの良い食事、そして適切な休憩を心掛け、暑い夏を元気に乗り切りましょう。健康な体づくりが、無事故・無災害への一歩となります。ご安全に。

重 点 施 策

8 月度安全重点目標 深部体温を下げましょう

効率的に体を冷やすには、臓器の温度である深部体温を下げるのが重要です。

人間の手のひら、足の裏、頬には、「動静脈吻合（AVA血管）」という体温調節のための特別な血管があります。ここを冷やすと、冷えた血液が体内を巡り、深部体温を素早く下げることができます。

- ・手のひらを冷やす
冷えたペットボトルや缶の飲み物を握る
- ・手足を水に浸す
洗面器などに溜めた10～15℃の冷水に手足を10分ほど浸す。
- ・頬を冷やす
冷たいミニタオルやボトルを顔に当てる。

※注意点

氷などのキンキンに冷えすぎたもの（0℃近く）を直接当てると、血管が縮んでしまい逆効果になります。

凍ったペットボトルを使う場合は、必ずタオルを1枚巻いて使用してください。

ご安全に！

総務部 総務グループ

◆事務局からのお知らせ◆



■ 令和8年度 安全祈願

日 時：7月3日（金）13：00～13：20

場 所：八坂神社本殿

参加者：協力会9社9名、社員8名



■ 令和8年度安全衛生協力会総会・第47回安全大会

日 時：7月3日（金）14：00～16：20

場 所：ホテルオークラ

参加者：協力会130社143名、社員82名 計225名



■ STOP！熱中症クールワークキャンペーン

期 間：5月1日～9月30日



■ 安全衛生協力会・委員会合同パトロールの予定

日 時：令和8年8月6日（木）13：00～15：30

場 所：R7 桂川下植野中島地区上流堤防強化他工事

協力会：(株)城東鉄筋、(株)タカダ、河原建設工業(株)